

モデル計画 H：地域等に対する次世代育成支援対策を行いたい会社

行動計画

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 年 月 日～ 年 月 日までの 年間

2. 内容

目標 1：計画期間中の男性の育児休業取得率を 85%以上とする

<対策>

- 年 月～ 各職場における休業者の業務カバー体制の検討（代替要員の確保、業務体制の見直し、複数担当者制、多能工化など）・実施
- 年 月～ 育児休業取得開始日から 10 日間を有給とする制度を導入する

目標 2：全社員の計画期間内における時間外・休日労働時間の平均が各月 15 時間未満とする。

<対策>

- 年 月～ 管理職を対象とした意識改革のための研修を〇〇回実施
- 年 月～ 業務量の見直し、DX化による事務の効率化などの取組実施
- 年 月～ 各部署における問題点の検討及び研修の実施

目標 3：地域の子どもの工場見学及び若者のインターンシップの受け入れを行う。

<対策>

- 年 月～ 受け入れ体制について検討開始
- 年 月～ 受け入れを行う工場や部署への説明及び体制作り
- 年 月～ 関係行政機関、学校との連携
- 年 月～ 社員への周知及び市区町村広報誌などによる取組の周知
- 年 月～ 工場見学及びインターンシップの受け入れ開始

目標 4：子どもが保護者である社員の働いているところを実際に見ることができる「子ども参観日」を 年 月までに実施する。

<対策>

- 年 月～ 検討会の設置
- 年 月～ 社内報などによる社員への「子ども参観日」実施についての周知
- 年 月～ 「子ども参観日」の実施、社員へのアンケート調査、次回に向けての検証・検討